

地域健康かるて 南宇治包括圏域

【人口】25,608人【高齢化率】29.42%（市全体：30.03%）（令和5年4月1日時点）

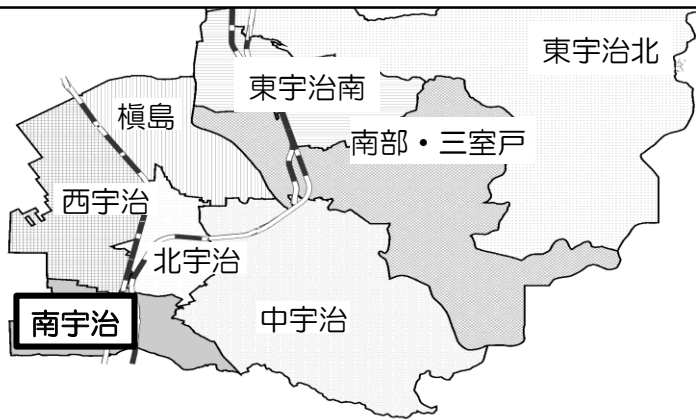
人口構成割合が市の平均とほぼ同じエリア

【小学校区】平盛・大久保・西大久保

主なエリア

伊勢田町（新中ノ荒・中荒・蔭田）
 大久保町（井ノ尻・北ノ山・田原・西ノ端・南ノ口・山ノ内・成手・平盛・旦棕・大竹・上ノ山・久保）
 広野町（岩ノ鼻・風呂垣外・新成田・成田・桐生谷・茶屋裏・寺山・東裏・宮谷・一里山・西裏）・寺山台

平盛、大久保、西大久保の3つの小学校区で構成される。東西に長く、公共交通機関に恵まれた商業地・住宅地の両面がある。戸建て住宅の密集地域や大規模集合住宅、旧村、宅地開発された地域など多様な暮らしがあるが、近年は空き家も目立つ。単身者やファミリー向けマンションが増加している。



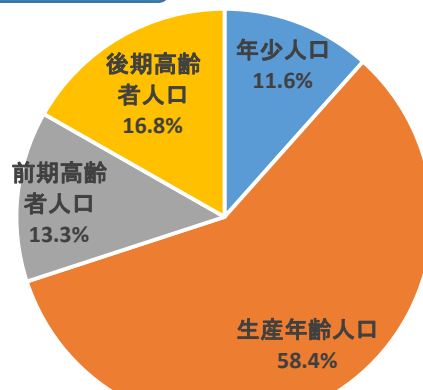
※国民健康保険、後期高齢者医療情報は令和4年9月時点であるため
 1人当たり年間医療費、健診受診率等は公表値と異なります

人口

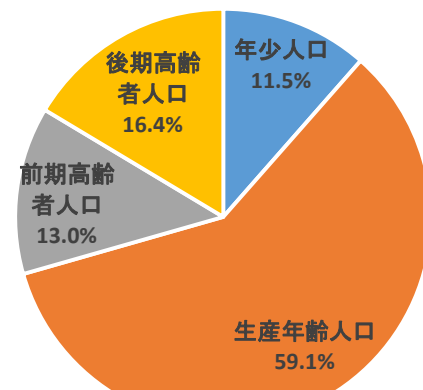
	総人口	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	(再掲)	
					前期高齢者人口 (65~74歳)	後期高齢者人口 (75歳以上)
宇治市	181,616	21,051	106,031	54,534	24,095	30,439
南宇治包括圏域	25,608	2,941	15,132	7,535	3,335	4,200

令和5年4月1日時点

人口割合



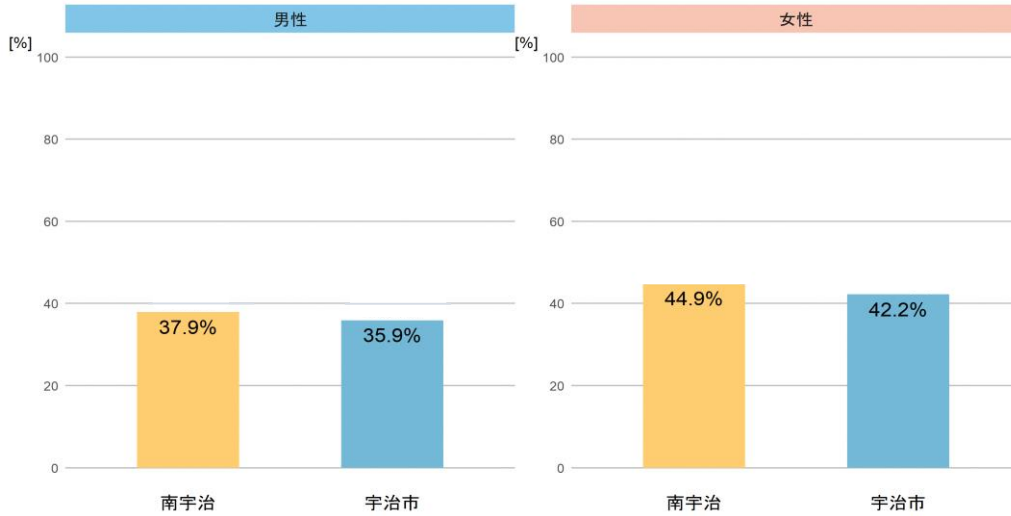
宇治市



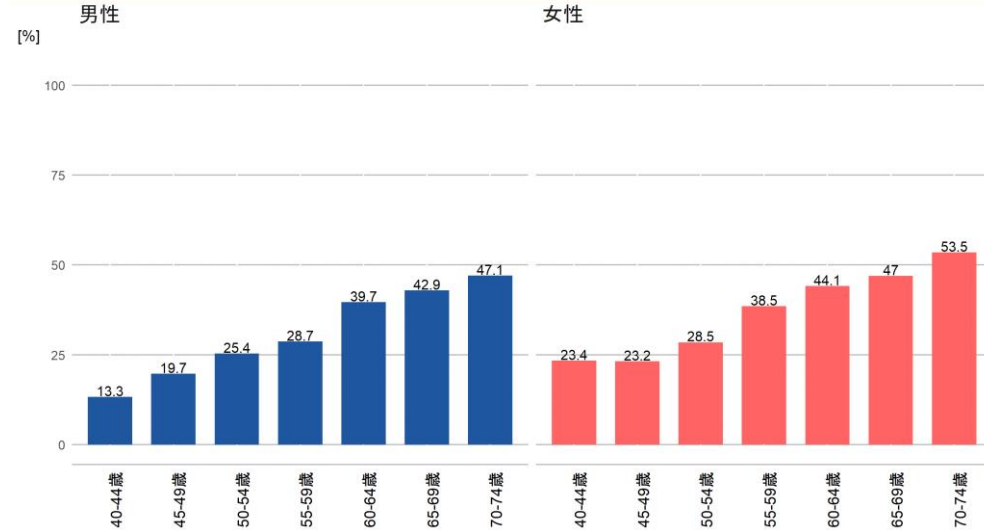
南宇治包括圏域

国民健康保険 特定健康診査 令和3年度

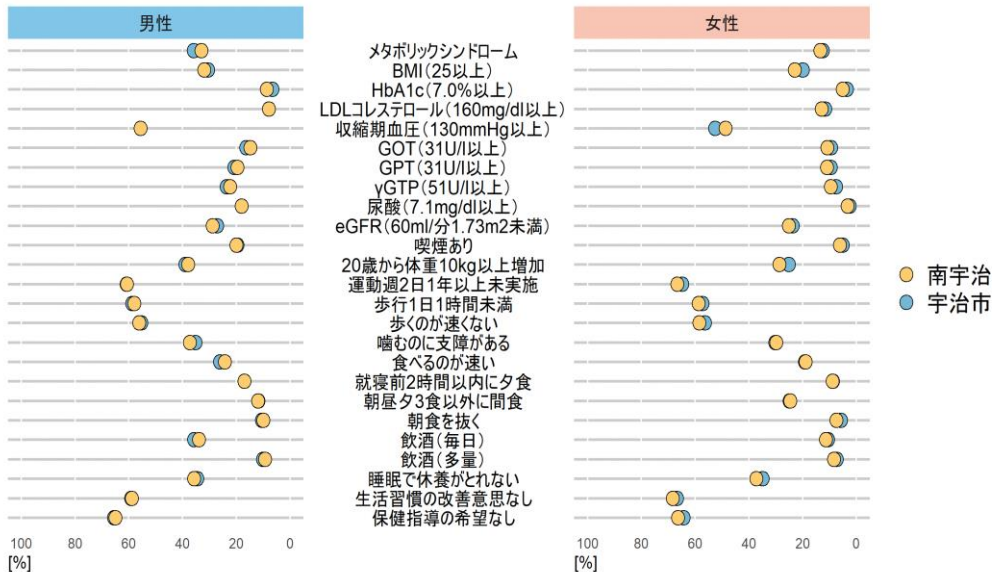
健診受診率



年齢別の健診受診率(南宇治)



健康と生活習慣病の状況



・特定健康診査受診状況は、市の平均よりも高い。

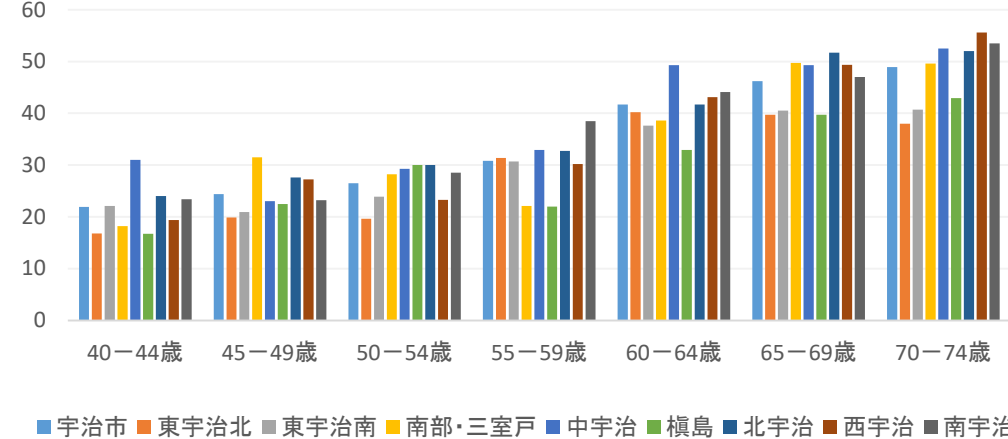
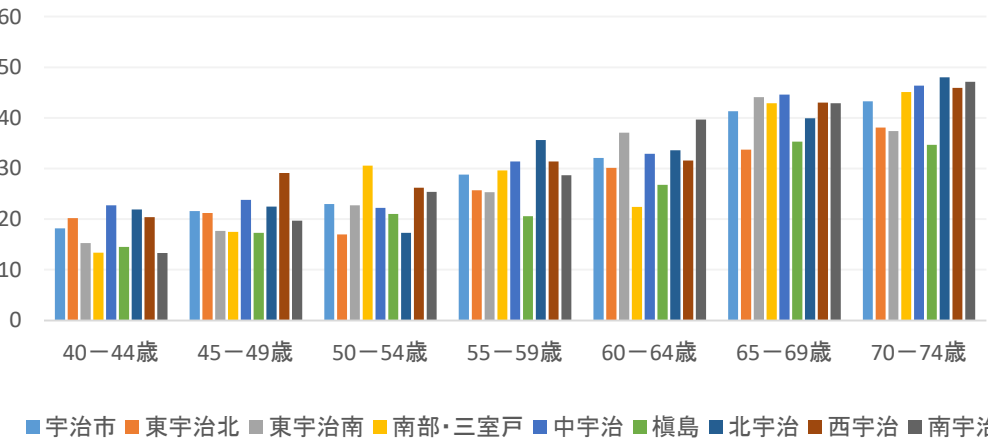
・特定健診結果では、男女とも『BMI25以上』『HbA1c7.0%以上』『eGFR60ml/分1.73m²未満』『睡眠で休養がとれない』の割合が高く、さらに男性では『噛むのに支障がある』の割合が、女性では『LDLコレステロール160mg/dl以上』『GOT31U/l以上』『GPT31U/l以上』『γGTP51U/l以上』『20歳から体重10kg以上増加』『運動習慣なし』『歩行1日1時間未満』『歩くのが速くない』『朝食を抜く』『飲酒(多量)』『生活習慣の改善の意思なし』『保健指導の希望なし』の割合が市の平均よりも高くなっている。そのため、適正体重および食生活改善に向けた啓発と取り組み、健康管理への意識向上を図る必要がある。

* 健診の標準的な質問票を元に作成しています。

国民健康保険 特定健康診査 令和3年度

特定健診年齢別受診率(男性)
(他の圏域との比較)

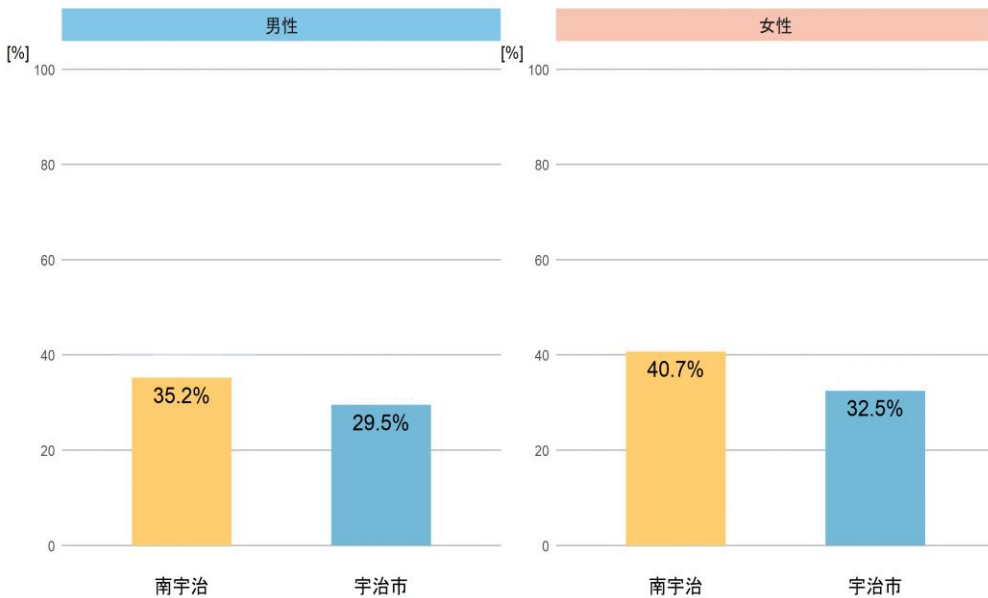
特定健診年齢別受診率(女性)
(他の圏域との比較)



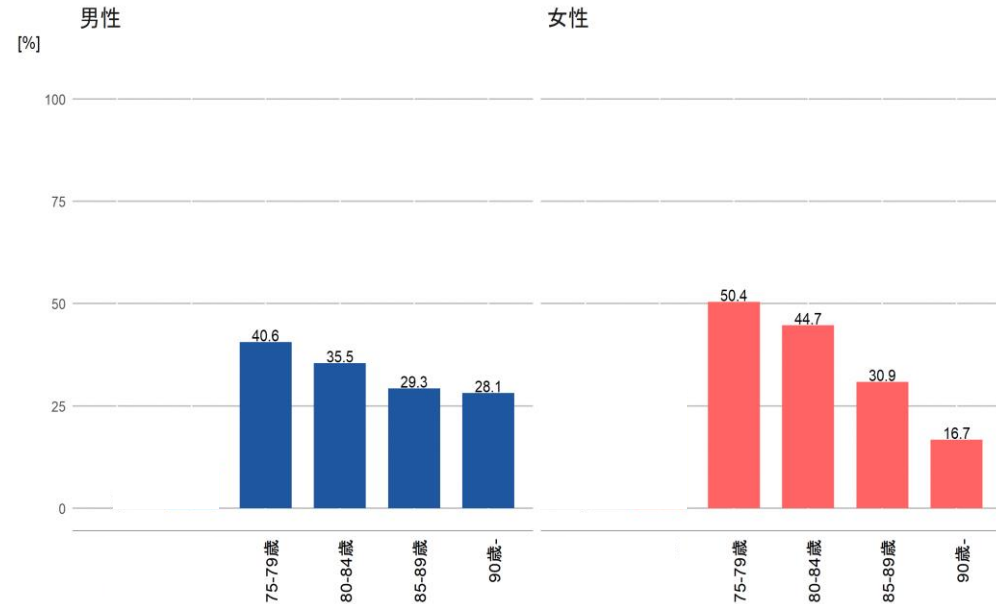
- ・特定健診受診率を市内他の圏域と比較すると、40代男性の受診率が低い。受診の必要性について働き盛りの世代への周知・啓発が必要。
- ・定期的な健診は、生活習慣病を中心としたさまざまな病気を未然に防ぐ、もしくは早期に発見することができ、早期治療につながる。健診の重要性を理解していただくための取り組み、啓発が必要である。

後期高齢者医療 健康診査 令和3年度

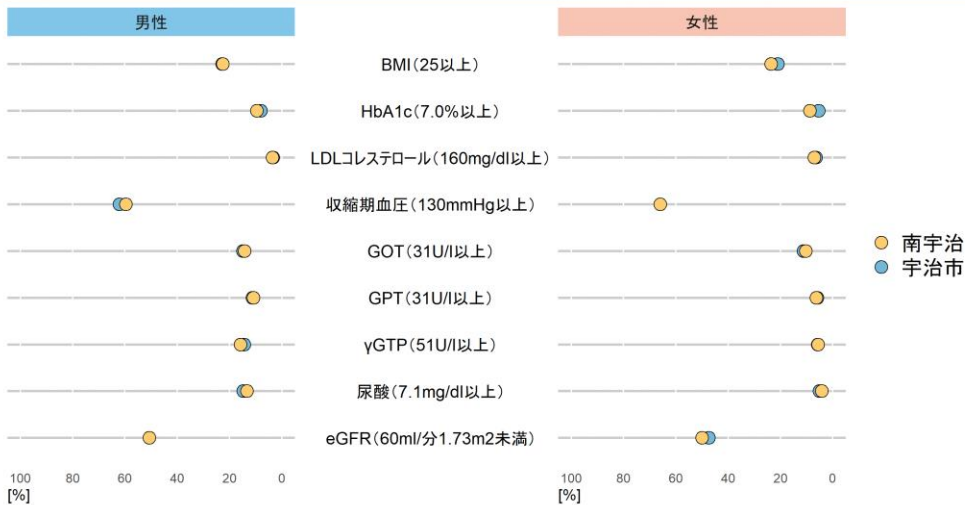
健診受診率



年齢別の健診受診率(南宇治)



健康と生活習慣病の状況



・後期高齢者医療制度健康診査の受診状況は特定健康診査同様、市の平均よりも高い。

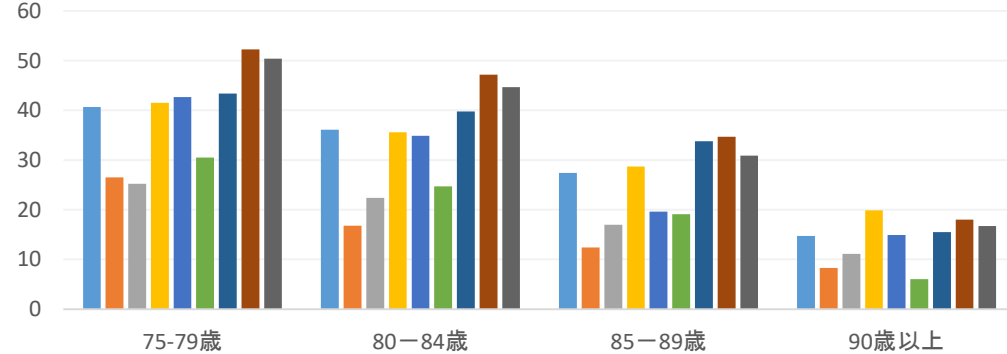
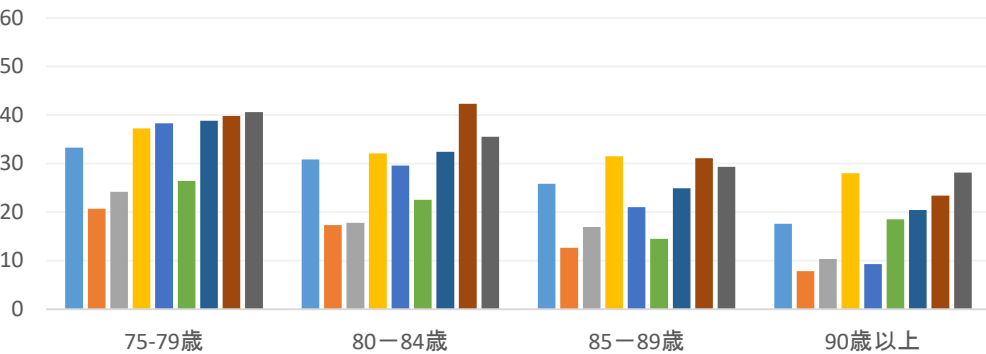
・健康診査結果は、男女ともに『HbA1c7.0%以上』の割合が市の平均より高く、さらに男性では『γGTP51U/l以上』の割合が高く、女性では『BMI25以上』『eGFR60ml/分1.73m²未満』の割合が市の平均よりも高くなっている。

* 健診の標準的な質問票を元に作成しています。

後期高齢者医療 健康診査 令和3年度

健康診査年齢別受診率(男性) (他の圏域との比較)

健康診査年齢別受診率(女性) (他の圏域との比較)



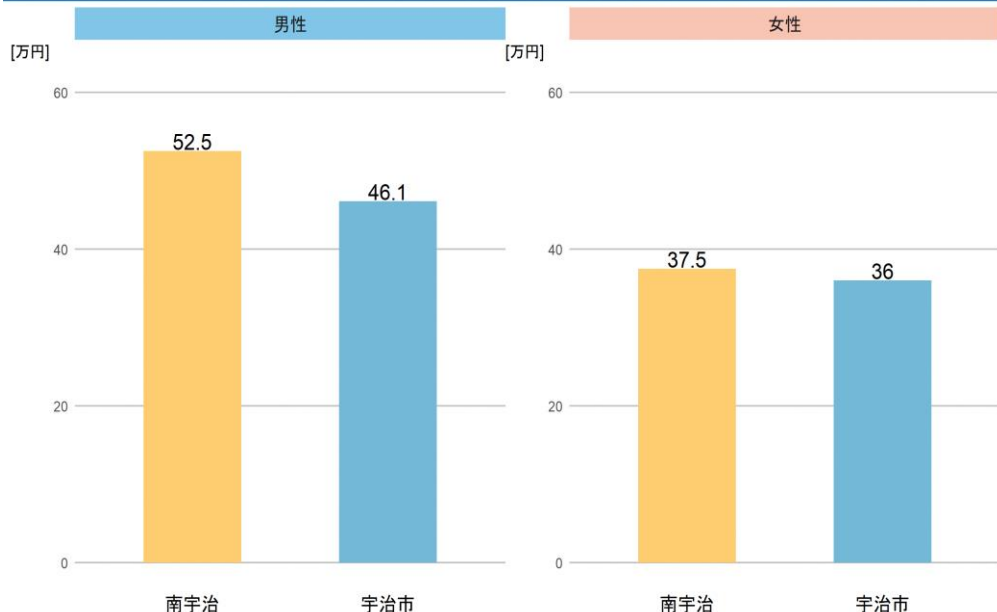
■ 宇治市 ■ 東宇治北 ■ 東宇治南 ■ 南部・三室戸 ■ 中宇治 ■ 榎島 ■ 北宇治 ■ 西宇治 ■ 南宇治

■ 宇治市 ■ 東宇治北 ■ 東宇治南 ■ 南部・三室戸 ■ 中宇治 ■ 榎島 ■ 北宇治 ■ 西宇治 ■ 南宇治

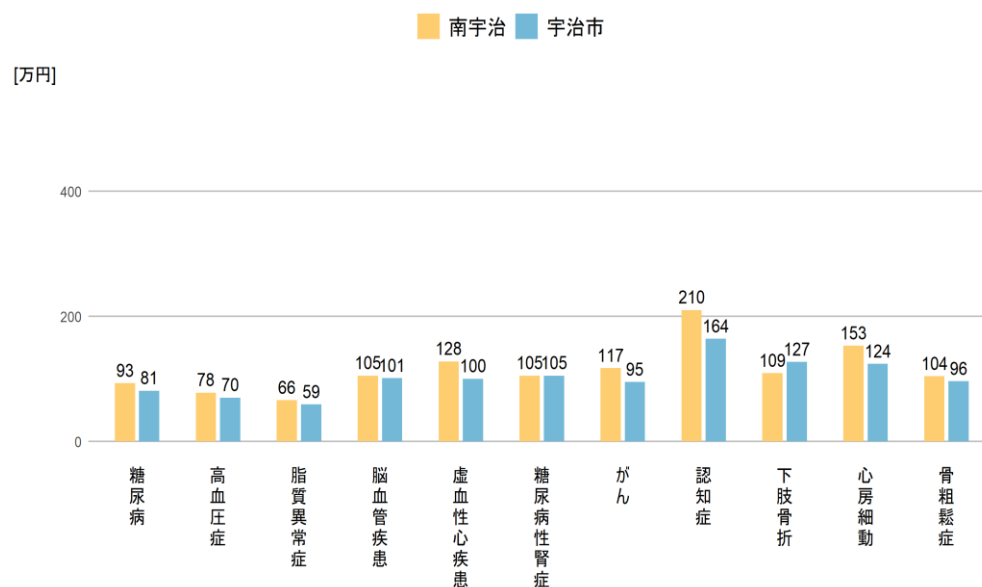
・健康診査年齢別受診率は、男女ともにどの年齢においても市の平均より高い状況である。

国民健康保険 医療費データ 令和3年度

1人当たり年間医療費

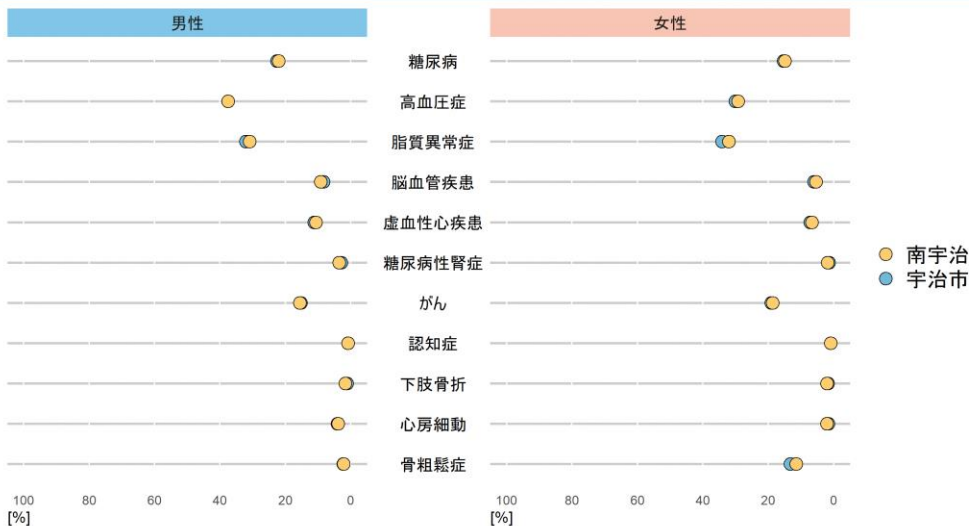


疾患別の1人当たり年間医療費



* 1人で複数の疾患を有していることがあります。

疾患別の有病率



・国民健康保険の加入者の1人当たり年間医療費は、市の平均よりも高い。

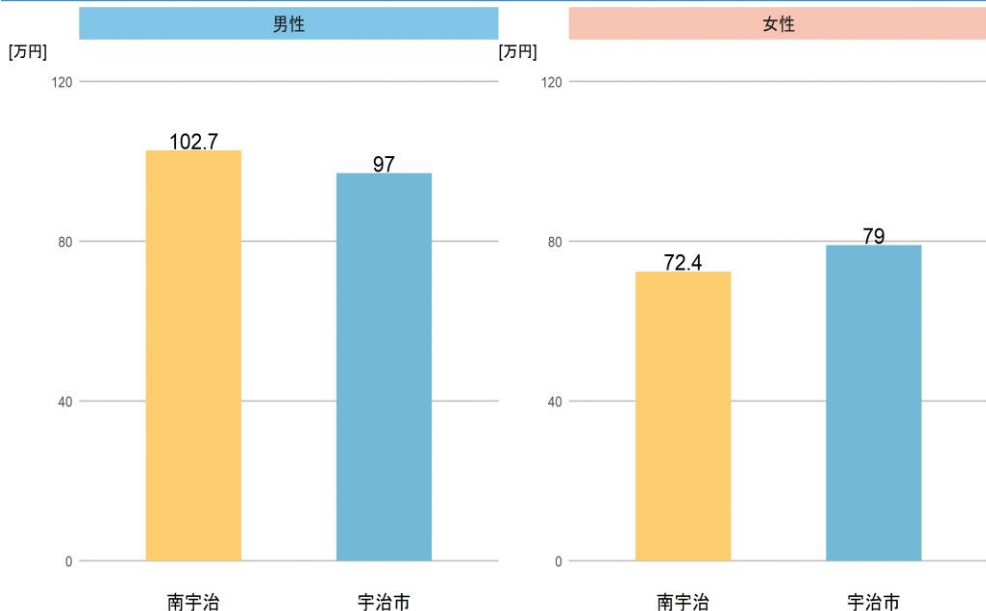
・疾患別の1人当たり年間医療費では、『糖尿病』『高血圧症』『脂質異常症』『脳血管疾患』『虚血性心疾患』『がん』『認知症』『心房細動』『骨粗しょう症』と多くの疾患で市の平均を上回っている。

・疾患別の有病率は、男女ともにいずれの疾患も市の平均を下回るか市の平均と大きな差はない。

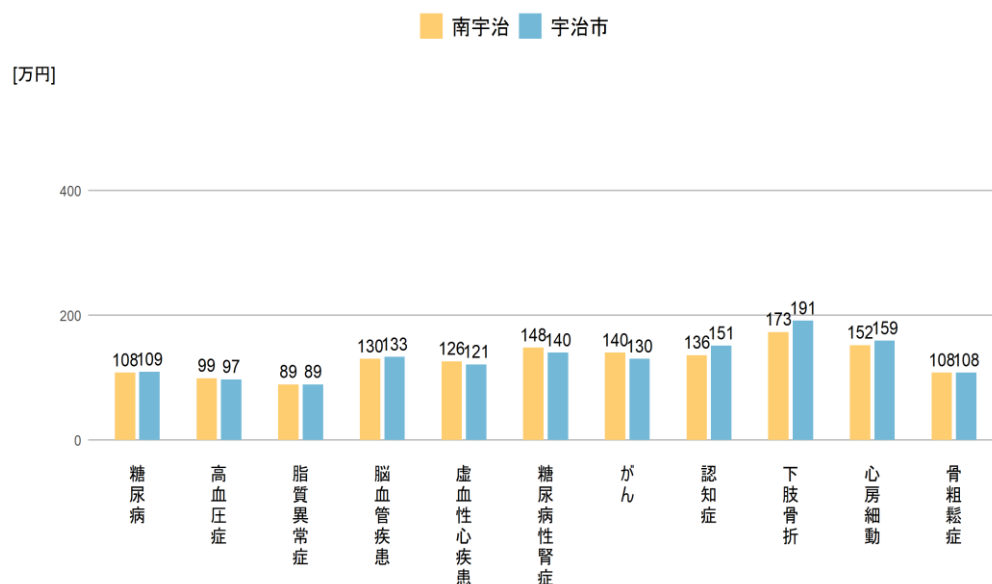
・治療中断率では男女ともに『脂質異常症』が市よりも高く、さらに女性では『糖尿病』『高血圧症』の中断率も高い状況である。医療の自己中断は、病気が重症化し合併症を引き起こすだけでなく、かえって医療費が高額になる傾向にあり、処方どおりに服薬することを含め、必要な医療受診に関する啓発が必要である。

後期高齢者医療 医療費データ 令和3年度

1人当たり年間医療費

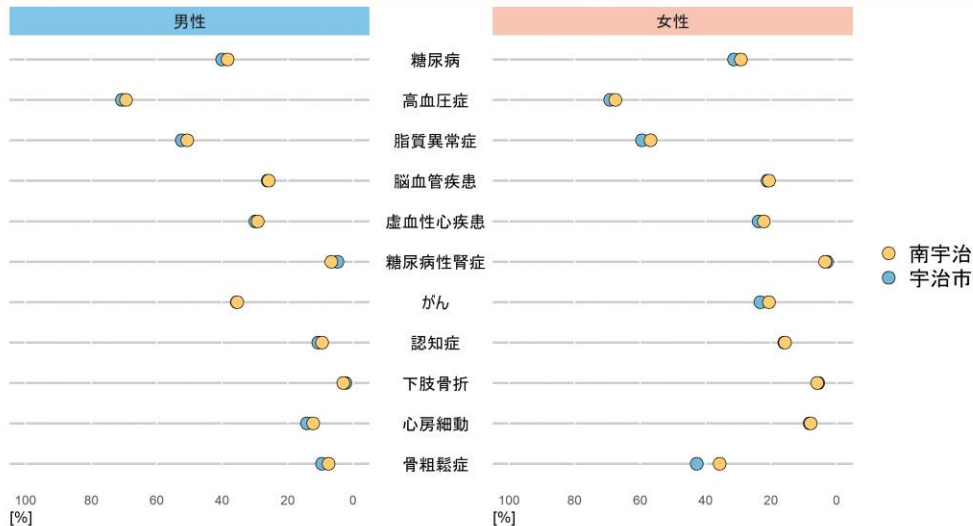


疾患別の1人当たり年間医療費



* 1人で複数の疾患を有していることがあります。

疾患別の有病率



・後期高齢者医療の1人当たり年間医療費は、男性は市の平均を上回っているが、女性では下回っている。

・疾患別の1人当たり年間医療費では、『高血圧症』『虚血性心疾患』『糖尿病性腎症』『がん』が市の平均を上回っている。

・有病率は、男性では『糖尿病性腎症』で市の平均を上回っている。

・治療中断率では男女ともに『骨粗しょう症』が市の平均より高い状況である。